

きびん

No.08
2014.11
November



社会福祉法人 済生会
済生会吉備病院

理念

地域に親しまれ、信頼される病院

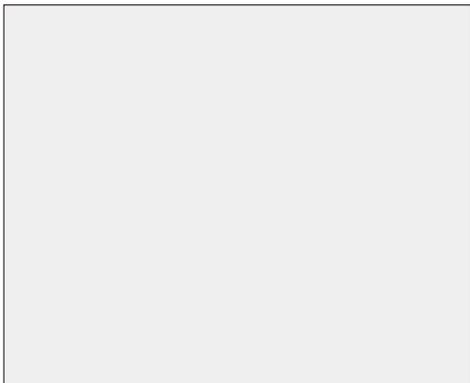
基本方針

- 1.患者さんの権利を尊重し、済生の心でまことの医療奉仕につとめます。
- 2.地域の医療機関や福祉施設との連携のもとにリハビリテーションを重視した早期の社会復帰を支援します。
- 3.本院と連携し質の高い医療を提供します。
- 4.安全で快適な療養環境を提供します。
- 5.職員の創意を生かし、患者さんと職員の満足度の向上につとめ、運営の持続的安定を目指します。

地域医療と皆様をつなぐ広報紙コミュニケーション

TAKE FREE ※ご自由にお持ちください。

無医島の人々に
医療の光を
済生丸100



済生丸の歴史

事務長／山縣 俊介



故 大和人士 元院長

済生丸は、故大和人士院長の「無医島の人々に医療の光を」という思いが実を結び、済生会創立 50 周年を記念して、昭和 37 年に病院並みの診療機能を持つ診療船として建造され、医療に恵まれない地域を対象に、疾病の診療や保健予防などを行うことを目的に活動を開始しました。済生丸は、岡山・広島・香川・愛媛にある瀬戸内海の 65 の島々を約 10 日ごとに各県にある済生会病院のスタッフが持ち回りで乗り込み、診療・検診にあたっています。

昭和 37 年から今日までの 52 年間で、地球を約 19 周したことになる、77 万 2 千kmを走航、延

55 万 9 千人の島の方々が受診しています。それでは、これより歴代の済生丸とともに活動の変遷をたどっていきたいと思います。

最初に就航した済生丸一世号は、昭和 45 年に改修を受け、新たに X 線テレビを装備し、「海をわたる病院」と呼ばれるようになりました。この頃から巡回診療は診療から検診に移行、当初「研究材料にされるのではないか」などとうわさされていた済生丸も次第に「我々の健康を守る船」として頼りにされるようになりました。昭和 50 (1975) 年 7 月、新たに就航した済生丸二世号は船首にゲートを装備し、港への接岸が容易にな

りました。また、昭和 51 年には検診業務を統括する「予防医学部」が設立され、現在に至る済生丸の岡山での活動を支え続けています。平成 2 (1990) 年、三世号が就航、船の速度が速くなるとともに船内が広くなったことで、今まで島の施設を利用して行っていた診療や検診が、船内で行うようになり便利になりました。この三世号は、その後平成 25 年 11 月までの 23 年間、歴代で最も長い間、瀬戸内海の島の人達の健康を守って行くことになりましたが、その間に大きな二つの出来事がありました。その一つは平成 7 (1995) 年 1 月 17 日に発生した



済生丸一世号



済生丸二世号



船内通路



エレベーター&トイレ



乳房撮影装置



処置室

阪神・淡路大震災です。この震災で済生丸は、救援物資の運搬や済生会医療チームの搬送と共に済生会医療チームの現地での基地としても活躍し、災害救援活動に貢献しました。そしてもう一つは、平成22（2010）年12月に済生丸事業が本部直轄事業から4県（岡山・広島・香川・愛媛）の各支部に委ねられることになり、老朽化した三世号の後継船の建造だけでなく事業自体の存続が危ぶまれました。幸いにも平成23（2011）年度か

ら4県支部共同事業として、継続実施することが決定され、平成26（2014）年1月に待望の新済生丸が就航しました。この新船は、済生会創立100周年の年に建造を決定したなどの経緯から通称を「済生丸100」としました。船内には新たにエレベータを設置するなど、バリアフリー化したことから、高齢者の船内での移動が格段に便利になりました。また、レントゲン装置はマンモグラフィー装置を新たに搭載するとともにデジタル化

し、画像を見ながらの診断が可能になりました。

この50数年の間に瀬戸内海の島々を取り巻く環境は大きく変わりました。陸地部に続く橋が架かって便利になった島もありますが、ほとんどの島が高齢化や過疎化が進み移動が困難になっていることなどから、済生丸の役目はまだまだ終わっていません。私達は、済生丸が来るのを待っている人達がいる限り、島の人々の健康を守り続けていきます。



済生丸三世号



済生丸100

濟生丸の思い出

診療担当参与／高田 眞治



私が濟生丸に初めて乗ったのは、多分 37 年くらい前、今から思うと濟生丸二世号に替わってまもなくの頃だったようです。港に停泊中の船の「白さ」が印象的でした。それ以来、日生諸島、布浜、犬島、石島、笠岡諸島など岡山県下の瀬戸内海の島々を巡り、一度だけですが、愛媛県宇和海にも行ってきました。

私自身も実際に体験するまでは、TV ドラマの「船の上の診療所」のように、診療スタッフが船に乗り組んで島を次から次へと回っていくと思っていましたが、実際には日帰り、または、せいぜい 1 泊で病院から交替でそれぞれの島へ出ていきます。ただ、一度だけ行った宇和海では数日間、あちこちの島を回り診療を行いました。瀬戸内海の島以上に医療資源に恵まれない地域だけにやりがいにはありましたが、慣れないところでの朝早くからの診療でこちらの身体は疲れ切ってしまいました。1 泊の診療では前夜に健康教育を行いました。とんでもない質問も出たりして島の方々とも和やかに交流できました。その後、宿に帰って一杯飲みながらの診療スタッフ同士の交流もよい思い出となっています。

濟生丸事業が始まった 50 年前に比べ、交通などの社会環境は大きく変わり、濟生丸不要論も出ていますが、島の人口減少、高齢化が進み、社会から取り残されそうな人たちにとって、50 年のうちに島の人たちの生活の中になじんできた濟生丸は、島での生活に欠かせないものになっているように思えます。

島での診療以外に、濟生丸で阪神淡路大震災の救援に行ったことも忘れられません。平成 7 年 1 月 17 日に発生した阪神淡路大震災の救援診療班の第 2 班（第 1 班として当院守

都医師が参加）として 1 月 22 日神戸に向けて出発しました。昼過ぎ新岡山港を出て、夕暮れの神戸新港に着きましたが、有名な「百万ドルの夜景」はなく街は黒々としていました。船が着いた第 3 突堤は分厚いコンクリートが波打つように歪み、激しい亀裂が走り、船から降りるのも注意が必要でした。翌日から実質 2 日間の活動でしたが、TV で見ていたとおりの風景が目の前や足下にありました。時折余震もあり怖いと思うこともありましたが、この年はボランティア元年といわれ、災害時の救援のノウハウが出来ていない頃だったため、被災現場での診療を始めすべてのことがスムーズに運ばず、十分な貢献ができないままに終わった感じが残りました。ただ、濟生丸という寝床付き、食事付き、風呂付きの基地を持っていることで、そうでなくても多忙な地元の行政の方に宿舎の世話をお願いせずに済んだことはよかったです。市内の移動手段では大変お世話になりました。）今後、我が国での大地震、大津波が心配される中、災害時の救援も濟生丸の大きな役割の一つと思います。



濟生丸の思い出

総看護師長／塩田 眞由美

「濟生丸 100」の就航おめでとうございます。

濟生丸の思い出といえば、私が看護学生の頃、夏休み期間中に3泊4日ぐらいで宇和海の検診に参加したことです。何故参加できたかは記憶にありませんが、クラスから5名程と自治医大の学生さんと合流しての研修でした。離島の方々との交流もあり、新鮮な体験でした。

夜は、浜辺で花火をしたり、何人かでボートにも乗せてもらいました。夜空の星とボートをこぐオールに沿って夜光虫が光りとても神秘的で感動しました。

島の方々の生活や医療の状況を知る機会となり、このときの体験は、その後の私の「看護師になりたい、看護師になってまた離島の検診活動に参加したい」という目標にもなり一生の思い出となりました。濟生丸が、これからも離島に暮らす人々の健康を見守る診療船として活動して欲しいと願っています。

瀬戸内巡回診療船「濟生丸」との思い出

はくとう病棟／益岡 静香

医療環境が十分でない離島の診療を対象に、診療および保健予防などを目的に半世紀を超える活動をしている濟生丸。何度乗船したでありますか？

私は当時内科病棟に配属されていました。それまでは、へき地検診には何度も行っていました、「離島の検診」へ行く機会も与えられました。

各部署スタッフと病院前へ集合し、向かうべき島へ、いざ出発。

停船前から島民が待っている姿が確認でき、停船後ハシゴ伝いに乗船され受付開始。看護師の主な役割は採血。船が波に揺れることもあり、足場不安定ながら採血をする。検診前から仕事をされ、検診後は再び仕事へ行くといわれる。「無理をしないように」など声をかけながら次の検査へ案内をする。「なかなか病院には行けないからね」との声をよく聞いた。検診という一つの大切な健康管理を自らで獲得する方が多かったように感じた。

島民の方は保健予防のためのツールであるが、私は検診に参加させていただくことで多くの学びも得ました。

- チームでの協働（少人数の中、スタッフ皆が手際よく時間内に検診が終わるように調整しながら、島民が早期の受診ができるように配慮する）
- 検診後にはスタッフの方々に声をかけやすくなり、病棟より連携が図れるようになった（何度も行かせていただいたため知り合いも多くなった）
- 島（海）の美味しい物が食べられた（シャコは驚くほど美味しかった） などなど。

現在は、吉備病院に出向しており、濟生丸乗船（検診）の機会はありませんが、人と人とのつながりを感じるよい時間でありました。機会があれば是非、濟生丸に乗船したいと思っています。



濟生丸の思い出

外来看護師／内田 恵子

私が濟生丸に乗っていたのは、かれこれ 20 年以上前のことだと思います。その頃の検診業務は、へき地検診と濟生丸検診であり、3 年～4 年以上の経験がある病棟の看護師が順番に担当していたのを覚えています。

私が担当した日は冬の雪がちらついている日でした。濟生丸が島に着いたときにはすでに島民の方が数人来られていて、寒いのに早くから濟生丸を待っていたことに驚きました。「わたしゃあ、血管が出んのんよ。」といわれる方が、2、3 人おられました。無事採血できてよかったと安心したことを覚えています。

今年から就航している濟生丸 100 に乗ることは無理かもしれませんが、機会があれば乗ってみたいと思っています。

濟生丸の思い出

ますかっ病棟／川上 雅代

国内唯一の診療船「濟生丸」、初めて乗船したのは20数年前、看護学校時代の実習です。写真を眺めながら懐かしいなあと、一瞬10代のあの頃に戻りました。

実習グループ8人で民宿に泊まり、次の日朝早くから検診に参加しました。島の方々が朝5時、6時から並んで船での診療を待っており、島に暮らす人々の健康を守っているのだなあと思いました。

船の中にはレントゲン室や診療室等の設備があり、本当に診療所のイメージでした。デッキの上で食べたお昼ご飯は、とても豪華でおいしかった事を覚えています。また機会があれば、ぜひぜひ乗船したいです。



濟生丸の思い出

ますかっ病棟／西本 泉

濟生丸の記事を依頼され、引き受けたものの20年以上昔の事で記憶も随分と曖昧になっていることに気がきました。かすかな記憶をたよりに思い出してみると、船の中にレントゲン室等があることに驚き、そして船内は医療機器搭載のためか、思ったよりは狭かったという記憶があります。

濟生丸に乗るのも初めてで、ワクワクし島に着くと、おいしい地元料理のおもてなしあり、普段、院内では関わることのない職業の人達とも交流ありで楽しかったです。楽しい思い出はさておき、検診についてですが、朝早くから島のお年寄りの方が並んでおられ、検診を心待ちにされているんだなあ…と改めて感じた瞬間でした。

当時は濟生丸について知識もあまりなかったのですが、最近になり濟生丸の話題を耳にし、すばらしい船に乗って検診に行くという貴重な体験をさせてもらっていたんだなあ…と思いました。また、機会があればぜひ濟生丸に乗って離島検診に行ってみたいです。

濟生丸の思い出

リハビリテーション科／船尾 浩之

私が濟生丸に乗ったのは二年前の冬で、北木島での巡回診療、保健予防事業に参加させていただきました。濟生丸での診療は午前中に行われ、午後から島の集会所で 20 名程度を対象として転倒予防教室をさせていただきました。教室では、移動能力の検査、環境に対する講義、体全体を使ったじゃんけん体操などを行い転倒予防に対する様々なアドバイスをしました。参加者の皆さんには和やかな雰囲気楽しく取り組んでいただくことができ、より一層転倒に関心をもっていただけだと思います。私自身この一日を通して濟生丸の持つ役割や予防事業の大切さを大変感じさせられました。

濟生丸の思い出

透析室看護師／高橋 淳子

私は看護学生の時の実習で濟生丸の検診に参加させていただきました。朝早くに笠岡港から出航し、16km離れた白石島に行きました。

私は当時学生だったので、実際に診療に関わることはありませんでしたが、検診に来られた方々の案内をしたり、島での生活や健康に関する不安などの話を聞きました。島には診療所が一ヶ所しかなく、レントゲンなどの検査装置もありません。また、高齢化が進んでおり、高血圧や糖尿病など持病を抱えている方も増加しています。そのため、体調が悪化した時の不安が強いという話を多く聞きました。

また、島は小さいので顔見知りの方も多く、お互いに助け合いながら生活している様子が伺えました。

濟生丸の検診はそんな島の方々の生活の一部になっていて、健康に関する不安を和らげていることを知りました。

夜は島の旅館に一泊しました。夜間は自由行動で、実習仲間と海辺を散歩したり、花火をしたり、島で獲れた海の幸や新鮮な野菜で作ったおいしい夕食を食べたことを思い出します。



濟生丸の思い出

画像診断科／今井 章人

私は本院に勤め始めてから毎年検診に行っておりました。私が乗っていた濟生丸は、二世・三世号で、日帰りだったり泊まりだったり、岡山の離島はすべて行ったはずです。

特に印象に残っているのは、30年ほど前、瀬戸大橋がかかる前に行った愛媛県宇和島市沖の離島の検診です。3泊4日の日程で、早朝からの検診はかなりきつかったです。検診終了後は、船員さんや他のスタッフと仲良く魚釣りをして、時間をつぶしていたことを思い出します。



濟生丸の思い出

検査科／平松 佳代子

私が済生会病院に就職したいと思った一番の理由は濟生丸での検診事業を知り、私も濟生丸に乗って仕事（検診）がしたいと思ったからです。「なんて素晴らしい仕事なんだ」と二十歳そこそこの私は大志を抱きました。済生会病院に就職してからは、濟生丸での検診は数えられない程行かせていただきました。

濟生丸での一番の思い出は昼食です。何を食べてもおいしくて検診の疲れは吹っ飛びました。食事が一番の思い出だとは不謹慎ですが、そう思っている職員は私だけじゃないはずですよ。

次に、濟生丸での仕事は岸壁に船をつけての仕事であり、船が大きく揺れたのが思い出されます。初めて濟生丸に乗る前は先輩方から「酔うよ〜」「吐くよ〜」と脅されドキドキしながらの乗船でしたが、意外に私は全く酔いを感じず、陸地にいるかのように仕事ははかどっていました。私の前庭器官はにぶいのでしょうか。

私は濟生丸で笠岡諸島へ出向く事が多かったのですが、そこで笠岡の島々の素朴な住民の方々に出会い、おしゃべりし、一期一会を感じながら癒されたのに岡山への帰途へついたら現実に引き戻されたのも記憶に残ります。

四代目の濟生丸になったということで濟生丸ファンの私としましては、また是非とも濟生丸に乗って検診に行きたい気持ちでいます。その願いがかないますよう日々の仕事に精進していきたいと思えます。

広報委員会でテーマを検討し、1年に数回『健康教室』を開催しています。毎年恒例の「高松農業高校 ミニぶたの芸」「高松中学校 吹奏楽部のみなさんによる演奏会」や、当院職員による「腰痛教室」「介護のはなし」など、地域の方々との交流を楽しみに行っています。参加は無料ですので、ぜひお越しください！

海の上の診療所「済生丸100」

はくとう病棟／難波 美和

平成 26 年 7 月 8 日（火）、「海の上の診療所済生丸 100」というテーマで健康教室が開催されました。済生丸は、社会福祉法人恩賜財団済生会創立 50 周年を記念として昭和 37 年に病院並みの機能を持つ診療船として誕生しました。

今回、当院山縣事務長より済生丸の歴史や、活動内容などのお話があり、約 30 名の患者さんや、地域の方々の参加がありました。

済生丸は、瀬戸内海島民の方々が安心して暮らせるよう海をわたる病院として活動し、島で暮らす人たちの健康を見守っています。通常

の検診だけでなく、災害救助船としても活躍しており、このような機能を持つ船は日本でも他にはないそうです。

現在の済生丸は 4 代目で済生会創立 100 周年の年に建造が決定したことから、「済生丸 100」の通称で就航しています。エレベーターや、船内のバリアフリー設備、各部門にわたり技術革新やハイテク化に対応できるといった特徴があります。

昨年テレビドラマのモチーフと



なった事もあり、参加された方々からは、「興味深かった。名前は聞いた事があったけれど、どんな活動をしているのか、よく分かった」等の感想が聞かれました。

備中荘・吉備病院合同夏祭り

はくとう病棟／長谷川 香奈恵

8 月 8 日（金）備中荘・吉備病院合同夏祭りが開催されました。当院の入院患者様もとても楽しみにされていましたが、悪天候のため参加することができず、職員のみお手伝いをさせていただきました。屋内での夏祭りではありましたが、備中荘に入所されておられる方のご家族にも大勢ご参加いただき、盛大に開催することができました。

職員による出店や傘踊り・民謡ボランティアの方が来てくださり、入所者様のいつも以上の笑顔を見ることができ、輪投げやヨーヨー釣りなどでは、日頃できないことができる喜びを感じられているようでした。職員共々、とても楽しい時間を過ごすことができました。

来年度は天候に恵まれ、当

院患者様と夏祭りに参加できることを願っています。



済生会吉備病院 訪問リハビリテーションのご案内

訪問リハビリテーションは主治医の指示に基づいて、通院困難な方や自宅でのリハビリを希望される利用者様のご自宅に理学療法士または作業療法士が訪問し、家屋の環境調整や日常動作の練習を行いながらADL(生活の質)が向上するようにお手伝いをします。

- ①身体機能や動作能力のチェック
- ②福祉用具選び、住宅環境改善のご提案
- ③介助者様の介助方法のご提案
- ④身体状態に合わせた日常生活動作
(歩行、トイレ、着替えや入浴など)の練習

趣味活動や買い物など利用者様が充実した生活を送れるようにお手伝いします。



まずは、
担当ケアマネージャーに
ご相談ください。

対象となる方

- 介護保険で要支援、要介護認定を受けている方
(医療保険による訪問リハビリは行っておりません)
- 主治医が理学療法士等による訪問リハビリテーションが必要であると判断した方

サービス提供地域

- 岡山市の一部：高松、足守、中山、香和、一宮、
吉備の中学校区
 - 倉敷市の一部：矢部、庄新町
 - 総社市の一部：服部、阿曾
- ※その他の地域もご相談にのります。

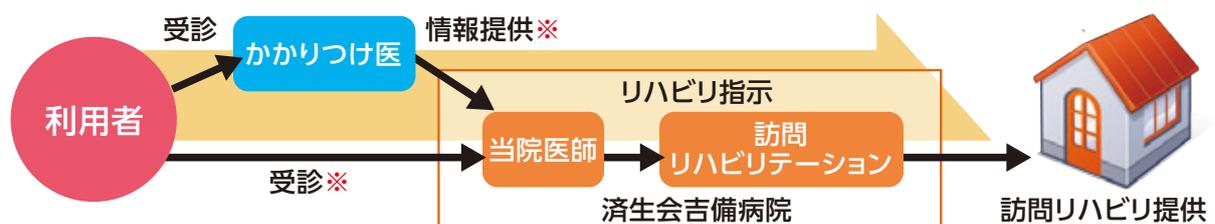
サービス提供時間

- 月曜日～金曜日
 - 午前8:30～午後4:30
- ※祝日、創立記念日、年末年始は除きます。

訪問リハビリを受けるにあたっての費用

- 介護保険制度により定められていますが、サービスの利用回数や期間により異なります。詳しくはお問い合わせください。

訪問リハビリを受けるまでのシステム



※かかりつけ医の情報提供と当院の受診は3ヶ月に1回必要となります。



済生会吉備病院 訪問リハビリテーション TEL(086)287-8655

ワンポイント リハ

膝の痛みを予防

今回は膝の痛みにお悩みの方へ、空いた時間に出来る簡単な膝周囲のエクササイズをご紹介します。

理学療法士／三宅 洋次・芽野 仁美
作業療法士／中野 広隆・長船 友香子

●とあるAさんとBさんの会話

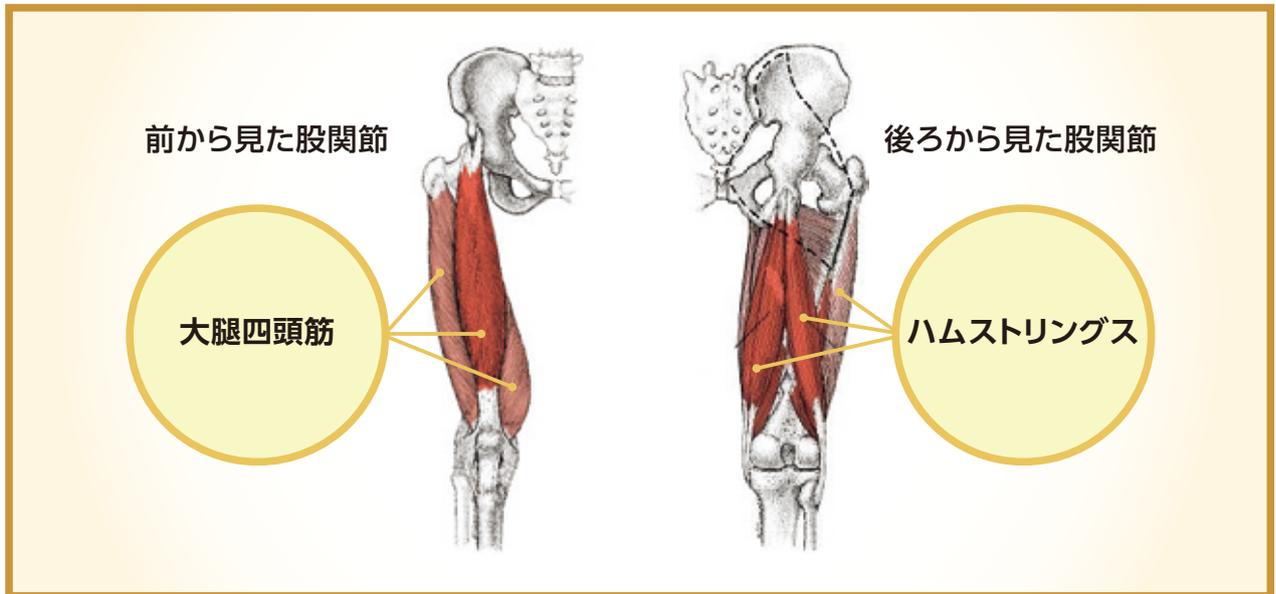
Aさん「年齢を重ねるにつれて膝が痛くて痛くて」

Bさん「わたしもよ、歩くときに痛いよね」

Aさん「本当ね、どうすれば膝の症状は変わるんだろうね」

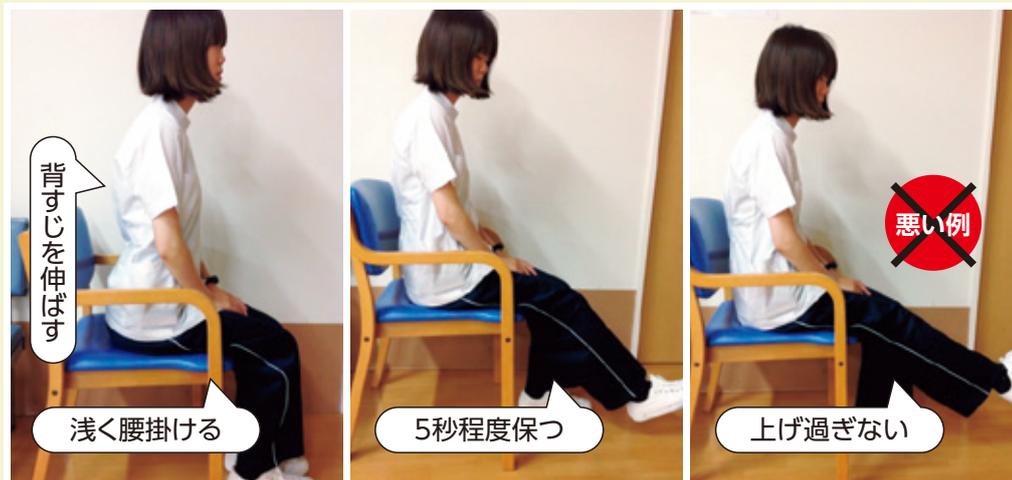
膝の痛みの原因として多いのが変形性膝関節症です。原因としては加齢や肥満など様々な要因によって膝関節に負担が加わることや加齢による関節構成体の変化、運動による関節へのストレスなどの様々な要素が関係すると言われています。

変形性膝関節症の症状として、初期は歩行などの動き始めの痛みがあり、変形の進行に伴い動い



1. 大腿四頭筋の筋力強化

座ってできるストレッチをいくつかご紹介します。



方法

- ①浅く腰掛けます。
- ②背筋を伸ばして膝を軽く伸ばしていきます。
- ③脚を床から10cm程度の所で止め5秒間保ちます。
- ④脚をゆっくり降ろして、10秒間休めます。これを10回程度繰り返します。
- ⑤反対側の脚も同様に行います。

ている時や階段の昇降時に強く痛みが訴えられるようになります。さらに変形が進行すると正座やしゃがむことが難しくなります。変形性膝関節症による骨の変形自体を治すことは難しいですが、予防として膝関節まわりの筋肉を鍛えることやストレッチをすることは痛みの予防として効果的です。変形性膝関節症の中でも日本人は中年以降の女性のO脚変形が一番多いと言われています。O脚変形が進むと膝は外方向を向いているため、歩く時に膝に外方向の動揺が生じます。この動揺が膝の負担となりさらに変形を助長する原因となります。これを軽減するために大腿四頭筋という筋肉があります。膝を伸ばし(守る)、歩くときに膝を保護する働きを持っている大腿四頭筋を鍛える事が重要です。大腿四頭筋は名前の通り4つの筋肉で構成されています。変形性膝関節症の方は特にこの筋肉の筋力低下が生じやすいと言われています。

また、変形性膝関節症が進行すると膝関節まわり

の筋肉の柔軟性が低下し、膝の曲げ伸ばし自体が難しくなってきます。膝を曲げる代表的な筋肉をハムストリングスといいます。今回は簡単に出来る大腿四頭筋の筋力トレーニングとハムストリングスのストレッチの方法をご紹介します。膝の痛みがひどくなると動けなくても痛みが生じるようになったり、場合によっては手術が必要な事もあります。我慢せず早めに専門の病院に相談することをお勧めします。

◎膝痛と肥満の関係◎

体重を支える膝関節には、立っているだけで負担がかかっています。歩くときに膝にかかる負荷は体重の約3倍と言われています。そのため体重50kgの人で150kg、体重60kgの人で180kgと、体重が10kg違えば膝への負担は30kgも差が出ます。階段を上ったり走ったりすればさらに負担は大きくなります。そのため肥満解消は膝の負担軽減に非常に大切です。

2.ハムストリングスのストレッチ



方法

- ①椅子に浅く座り、膝を伸ばします。
- ②伸ばした側の足に手を沿わせながら、ゆっくりと体を前に倒します。
- ③呼吸をしながら、30秒を1セットとし2～3セット行います。
- ④反対側の足も同様に行います。

*伸ばしている場所に痛みを感じたら、そこで止めてください。

*共に万が一痛みが出現する様であれば中止して下さい。

また、痛みが継続するようであれば専門の病院へ相談をお勧めします。

※自分独自の方法で行っていると逆効果になる可能性があるため注意して下さい。

済生会吉備病院では、9月1日から、 地域包括ケア病棟が稼働しています!!

「地域包括ケア病棟(床)」とはどんな病棟(床)なののでしょうか?

済生会吉備病院 院長／坪井 雅弘

平成 26 年度から新しい病棟 (床) 機能である、「地域包括ケア病棟(床)」が新設されることになりました。今後、日本の人口は減少していきませんが、75 歳以上の後期高齢者の人口は 2025 年までは増加していきます。国は、高齢者の医療と介護を行うシステムとして「地域包括ケアシステム」を構築しようとしています。その中核となる機能を持った病棟(床)が「地域包括ケア病棟(床)」です。済生会吉備病院では 9 月 1 日から「地域包括ケア病棟(35 床)」が稼働しています。

ところで地域包括ケアシステムとは、およそ 30 分で駆けつけられる地理的範囲(中学校区等)で、その地域の高齢者に医療と介護を統合して供給するシステムのことです。

では、「地域包括ケア病棟(床)」の機能はどうなののでしょうか。機能的には、急性期と慢性期の間の部分を担う病棟(床)と考えられますが、医療の実情は、地方によって異なります。その地方の実情に即して対応できる機能を持った病棟(床)と言えると思います。

即ち、次のような機能を有しています。

サブアキュート(軽度急性期患者さんを診療する)機能として、

- ① 急性期より緩やかな発症をする患者さんを診る機能
- ② 在宅患者さんの急性増悪を診る機能
- ③ リハビリや生活復帰支援の機能

ポストアキュート(急性期治療が終わった患者さんの診療)機能として

- ④ 急性期での治療を終えた患者さんを診る機能

では、具体的にどのような患者さんが入院できるのでしょうか。

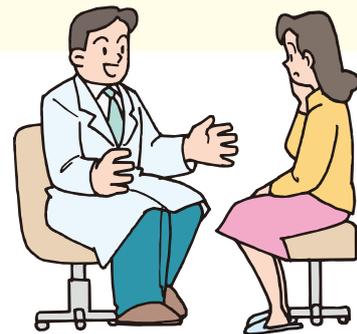
- ① 急性期病院で治療を受けて回復しましたが、自宅や施設に退院するのに不安がある患者さん。
- ② 自宅で療養されていて体調を崩して、入院してリハビリや治療が必要な患者さん。
- ③ 施設に入所されていて体調を崩して、入院治療が必要な患者さん。

などの患者さんです。

しかし「地域包括ケア病棟(床)」には次のような注意点があります。

- 1) 入院できる期間は、最大で 60 日までです。
- 2) 退院後は、自宅に退院されるか、特別養護老人ホームやある種の老人健康保険施設や、ケアハウス・有料老人ホームなどのように国が自宅と同等の施設と認めた施設に退院する事が望めます。
- 3) 急性期病院で行われているような、高額な医薬品の使用や、手術や、特殊検査などには対応できません。
- 4) 入院費は「地域包括ケア病棟入院料」を算定し、入院費にはリハビリテーション・投薬料・注射料・処置料・検査料・画像診断料・入院基本料などの費用が全て含まれています。

このように、「地域包括ケア病棟(床)」は、地域の医療と介護を結ぶ架け橋として重要な役割を担っている病棟(床)といえます。



セアカゴケグモに注意

画像診断科／今井 章人

オーストラリア由来であるとされるセアカゴケグモは、日本各地に生息しつつあり大きな社会問題になっています。このクモに咬まれた時の症状と対応について簡単に解説します。

症 状

- ① チクリと針で刺したような痛みを感じます。
- ② 咬まれた部分の周りが腫れて赤くなります。
- ③ 通常は数時間から数日で症状は軽減しますが、悪化すると痛みはひどいに全身に広がり、多量の汗をかいたりさむけ・吐き気などがあらわれることもあります。

セアカゴケグモに咬まれてもアナフィラキシーショックを起こすことは稀ですので、適切な治療を行えば死ぬようなことはありません。



処 置

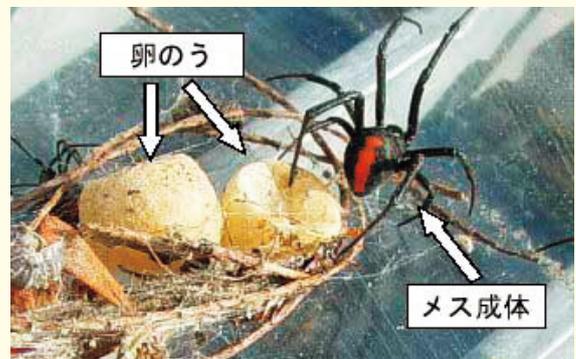
- ① 痛みを緩和する意味で、咬まれた箇所を流水やアイスパックなどで冷やしてください。
- ② 多少出血があっても痛みを増強させるので、包帯や止血帯はしないほうがよいでしょう。
- ③ できるだけ早く医療機関で治療を受けてください。その時、咬まれたクモを持参すると適切な治療につながります。
- ④ 重症化した場合は抗毒素血清による治療が必要です。

予 防 法

- ① 屋外清掃や庭の手入れの際には、必ず軍手などの手袋を着用してください。
- ② 巣らしきものを発見したら、絶対に素手でさわったりしないでください。

駆除及び防除方法

- ① 一般家庭用スプレー式殺虫剤を吹き付けるか踏みつぶすようにしてください。
- ② 卵のうは薬剤が効かないため、必ず踏みつぶしてください。
- ③ 移動としては、車や自転車のほか様々な資材などに付着して運ばれるケースがほとんどで、完全な駆除は難しく、生息しやすい場所の定期点検が不可欠となります。



以上、簡単にセアカゴケグモについて記載させていただきました。毒をもっているのは雌だけで、クモには攻撃性はありませんので、絶対に素手で触らないようにしてください。

(環境省・堺市 HP 参考)

神経障害性疼痛

理学療法士 / 山下 智徳

神経障害性疼痛とは、痛みを伝える神経が傷つくことにより発症する難治性の痛みのことです。身体のどこにも損傷はないのに痛みが続いたり、強い針で刺したような痛みや電気が走るような痛みを感じたりといった症状が現れます。

これは、さまざまな原因によって神経が異常な興奮をすることで起こる痛みです。代表的なものには、

- ①坐骨神経痛
- ②頸椎症
- ③帯状疱疹後神経痛
- ④糖尿病神経障害による痛み・しびれ

などがあります。

40代以上に多く、日本では約600万人以上の患者さんがいると推定されています。痛みはガマンを続けると慢性化する恐れもあります。早めに医師にご相談ください。



小川ほか：臨床整形外科. 2012

無料低額診療事業のご案内

当院は、社会福祉法に基づき生計困難者に対して無料又は低額診療を行っています。医療費の支払い等にお困りの方は医療ソーシャルワーカーが相談に応じます。また、無料の相談会も開いています。お気軽にお申し出ください。

医療相談室

- 相談は無料です
- 相談は事前予約ができます
- 相談内容についての秘密は厳守します

日時 月～金曜日
午前8時半～午後5時

代表
086-287-8655



無料健康相談会

日時 毎月第3水曜日
午前10時～12時
場所 1階応接室

がん患者・ 家族のための相談会

相談窓口 医療相談室
日時 偶数月第3水曜日
午後2時～4時
場所 1階会議室

編集 後記

今年は夏らしくない夏であり、すぐに秋がやってきましたね。

秋と言えば、食欲の秋・芸術の秋・運動の秋など…秋を心待ちにしている方も多いのではないのでしょうか？私は今年の秋は、紅葉を楽しみにしています!!私の好きなスポットは帝釈峡!!個人的に上流の川が好きなので、川に沿って紅葉を見られる帝釈峡は大好きです!!ちなみに、「紅葉」でネット検索すると、紅葉のメカニズムが書いてありました。「へええ～」だったので、皆さんも検索してみてください。

皆さんも○○な秋を楽しみましょう!!

今回もきびっこを手にとり頂き、ありがとうございました。(M.U)